



平成29年度第2回上下水道モニターアンケート結果について

1. テーマ

「大雨対策について」

2. 概要

大雨対策についての認知度等についてアンケートを実施。
設問数は10問。

3. 調査期間

2017/07/18～2017/08/01

4. 調査方法など

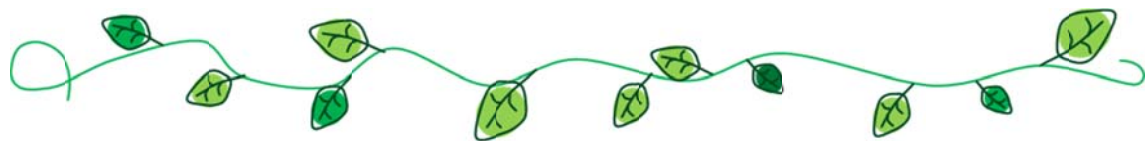
対 象：上下水道モニター495名

調査方法：インターネットを通じてアンケートに回答

回 収 率：調査対象495名に対して、

有効回収数298名

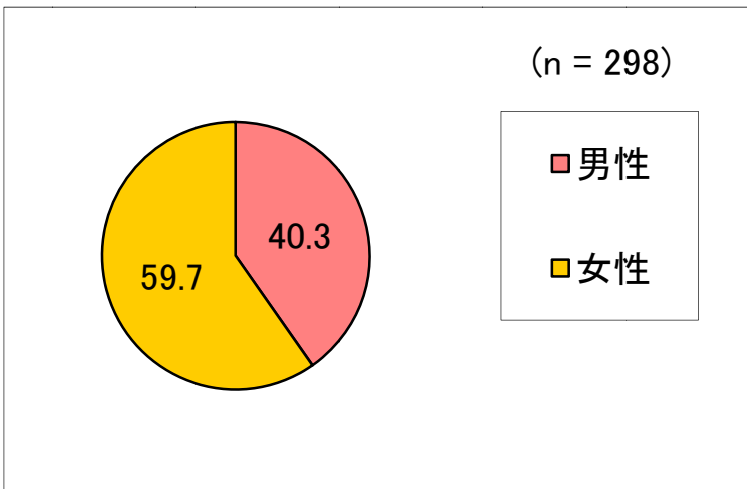
有効回収率60.2%



本アンケートの設問は全 10 問（F S 除く）です。

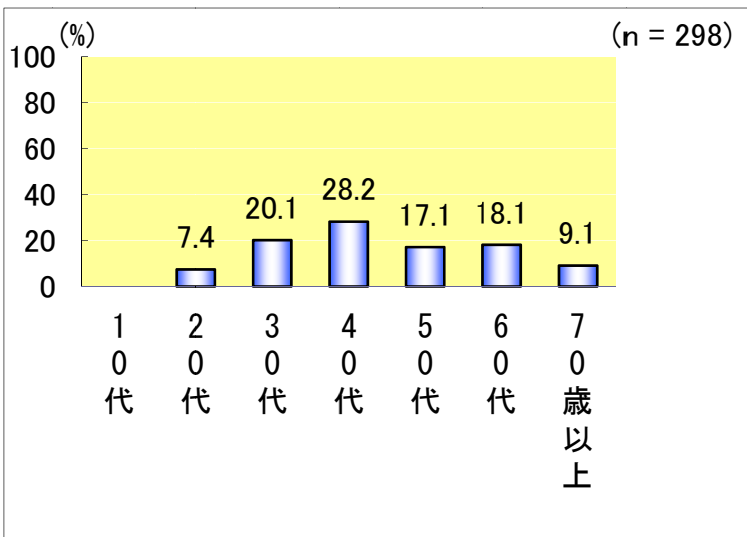
F S	性別、年齢
問 1	上下水道局公式ウェブサイトでは、お住まいの近くの雨水ポンプ所の運転情報を知ることができる「雨水情報」を提供していますが、ご利用頂いたことはありますか？
問 2	大雨(ないし大雨が予想される)時、あなたが知りたい情報はなんですか？あてはまるものを全て選んでください。
問 3	大雨等の風水害が予想される時、あなたが事前に行う備えはなんですか？あてはまるものを全て選んでください
問 4	道路上には雨水が流れていく雨水ますがあります。この雨水ますの上に落ち葉やゴミが溜まると、下水道には流入の余裕があるにも関わらず、雨水が下水道に流れていかず、道路冠水が起こることもあります。地域又はご家庭で、定期的に付近の雨水ますの清掃をしていますか？
問 5	質問4で「定期的に地域で清掃をしている」・「定期的に個人で清掃している」を選択された方におたずねします。どのくらいの頻度で行っていますか。
問 6	質問5で「1年に1回」・「半年に1回」・「2～3か月に1回」を選択された方にお伺いします。清掃を行う上で、問題となっていることはありますか？最もあてはまるものを一つ選んでください。
問 7	質問6でその他を選択された方は、具体的にご記入ください。
問 8	名古屋市では、1時間 50mm降雨に対する下水道整備を進めています。また、東海豪雨等で浸水被害が集中した地域や、名古屋駅前等都市機能の集積する地域においては1時間 60mm降雨に対応した整備を進めることで、時間 97mm降雨(東海豪雨時の記録)に対して、床上浸水の概ね解消を図ることを目的とした「緊急雨水整備事業」をしています。このような雨水対策を行っていることをご存知でしたか？
問 9	名古屋市では、様々な大雨対策を行っていますが、ハード面の整備は多額の費用と時間を要するため、お客さまにも大雨対策のお願いをしています。以下の中で、実際に実行していただいている雨水対策はありますか？あてはまるものを全て選んでください。
問 10	雨の量が下水道などの排水施設の能力を超えるときや、河川の水位が高くなったとき、雨水を排水できなくなり浸水することがあります。このような現象を「内水はん濫」といいます。河川や下水道の能力を超える雨に対して、浸水被害を最小限にするために、自宅周辺がどの程度浸水するのかを把握して、いざという時の避難行動について確認していただく等、日頃から水害に備えてもらうことを目的として「内水ハザードマップ」を作成しました。あなたは内水ハザードマップをご存知ですか？

■性別



No.	選択肢	実数	%
1	男性	120	40.3
2	女性	178	59.7
	計	298	100

■年齢



No.	選択肢	実数	%
1	10代	0	0.0
2	20代	22	7.4
3	30代	60	20.1
4	40代	84	28.2
5	50代	51	17.1
6	60代	54	18.1
7	70歳以上	27	9.1
	計	298	100

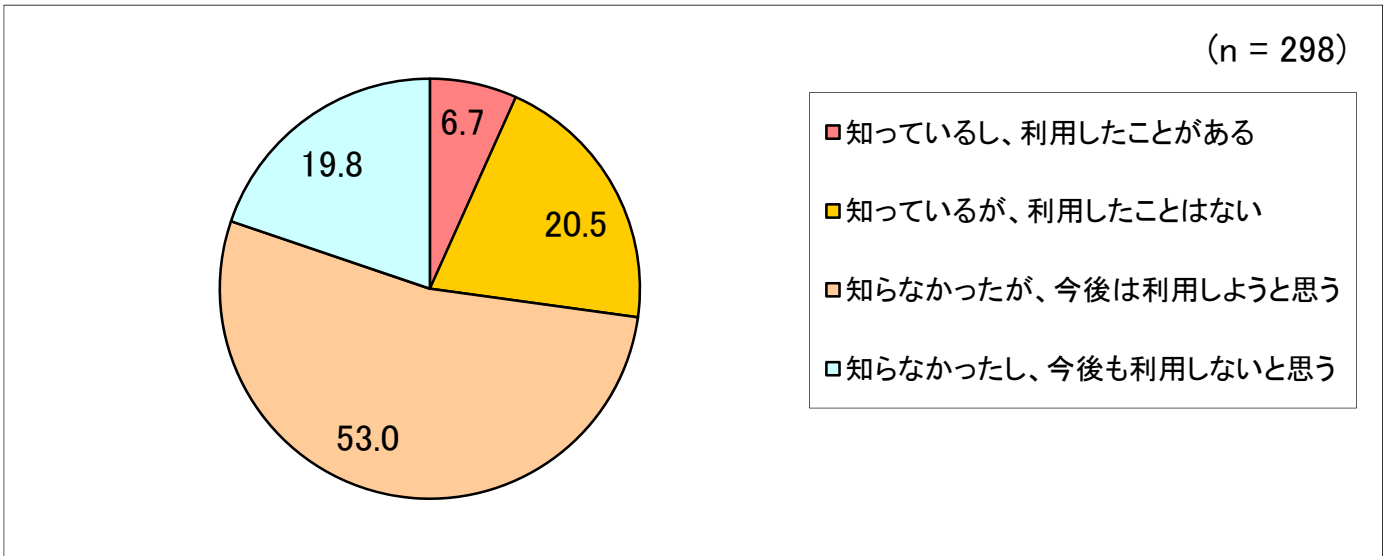
■構成比

	男性	女性
10代	0	0
20代	9	13
30代	11	49
40代	28	56
50代	18	33
60代	36	18
70歳以上	18	9
計	120	178

アンケートにご協力いただき
ありがとうございました！



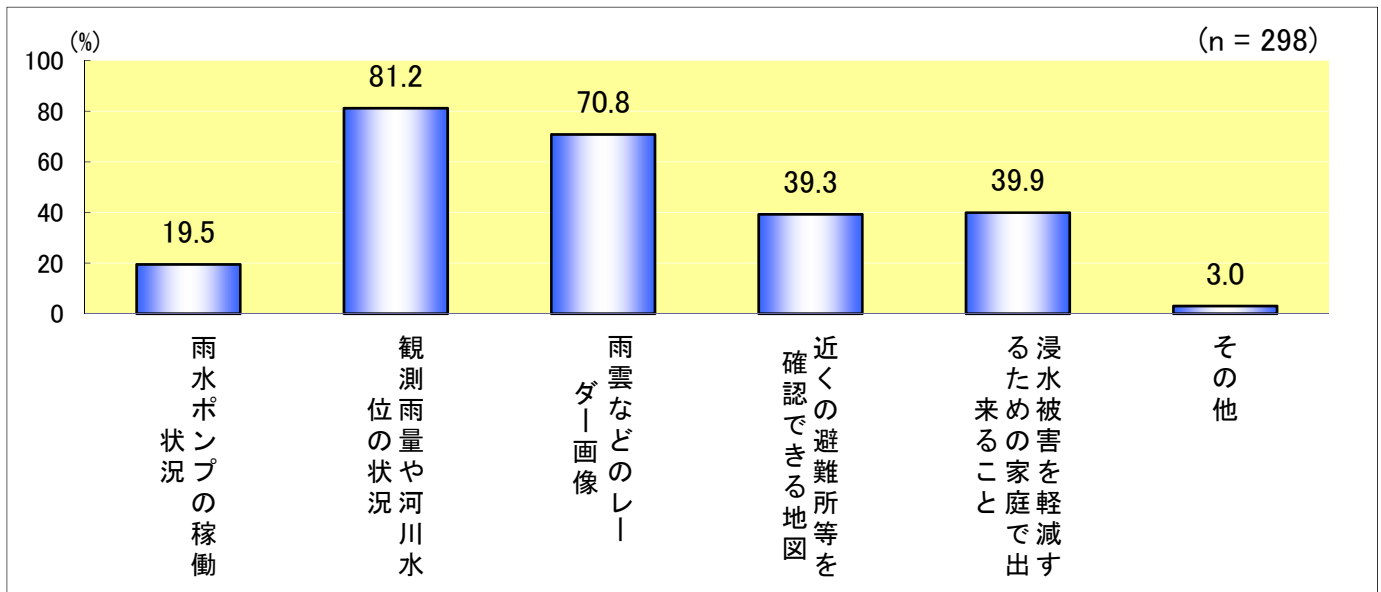
■問1 上下水道局公式ウェブサイトでは、お住まいの近くの雨水ポンプ所の運転情報を知ることができる「雨水情報」を提供していますが、ご利用頂いたことはありますか？



No.	選択肢	実数	%
1	知っているし、利用したことがある	20	6.7
2	知っているが、利用したことはない	61	20.5
3	知らなかったが、今後は利用しようと思う	158	53.0
4	知らなかったし、今後も利用しないと思う	59	19.8
	計	298	100

最も多いのは「知らなかったが、今後は利用しようと思う」で、全体の52.9%でした。
 知っていると答えたのは、27.2%でした。(利用したことがある6.7%、利用したことがない20.5%)

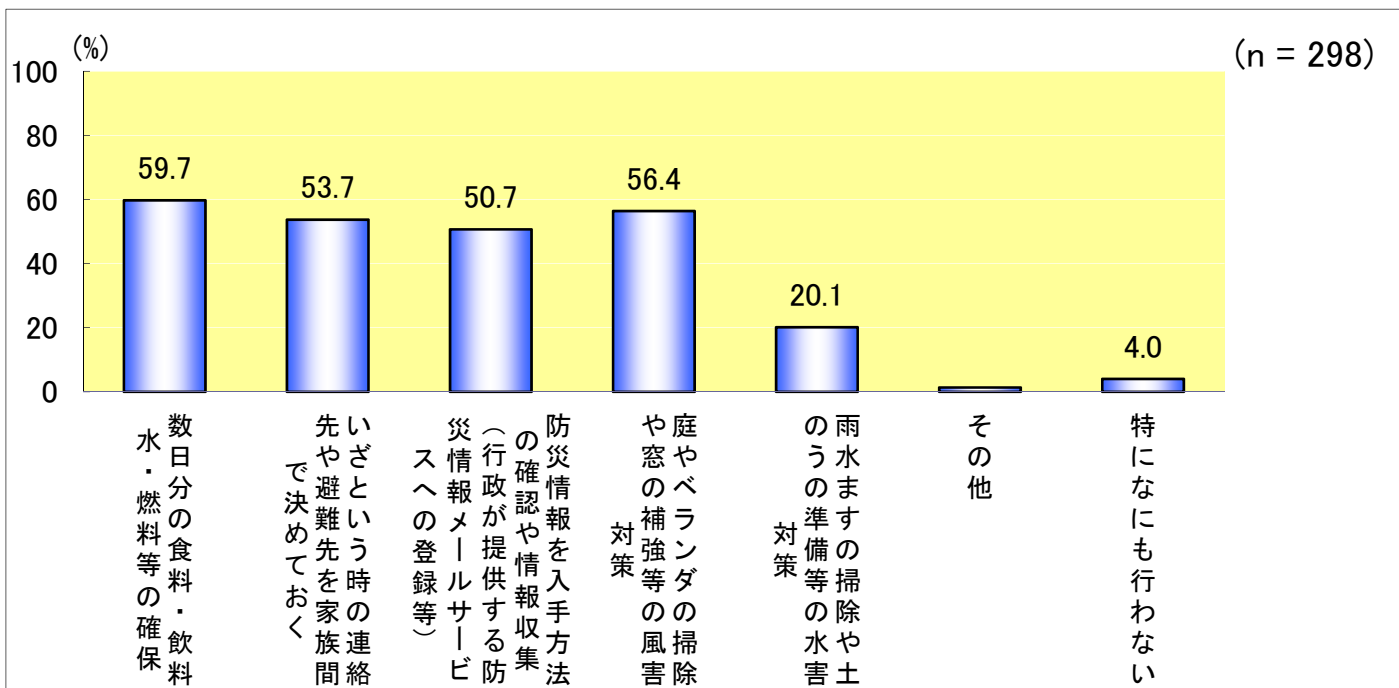
■問2 大雨（ないし大雨が予想される）時、あなたが知りたい情報はなんですか？あてはまるものを全て選んでください。



No.	選択肢	実数	%
1	雨水ポンプの稼働状況	58	19.5
2	観測雨量や河川水位の状況	242	81.2
3	雨雲などのレーダー画像	211	70.8
4	近くの避難所等を確認できる地図	117	39.3
5	浸水被害を軽減するための家庭で出来ること	119	39.9
6	その他	9	3.0
	計	298	100

最も多いのは、「観測雨量や河川水位の状況」で、全体の81.2%でした。
次に多いものは、「雨雲などのレーダー画像」で、全体の70.8%でした。

■問3 大雨等の風水害が予想される時、あなたが事前に行う備えはなんですか？あてはまるものを全て選んでください



No.	選択肢	実数	%
1	数日分の食料・飲料水・燃料等の確保	178	59.7
2	いざという時の連絡先や避難先を家族間で決めておく	160	53.7
3	防災情報を入手方法の確認や情報収集 (行政が提供する防災情報メールサービスへの登録等)	151	50.7
4	庭やベランダの掃除や窓の補強等の風害対策	168	56.4
5	雨水ますの掃除や土のうの準備等の水害対策	60	20.1
6	その他	4	1.3
7	特になにも行わない	12	4.0
	計	298	100

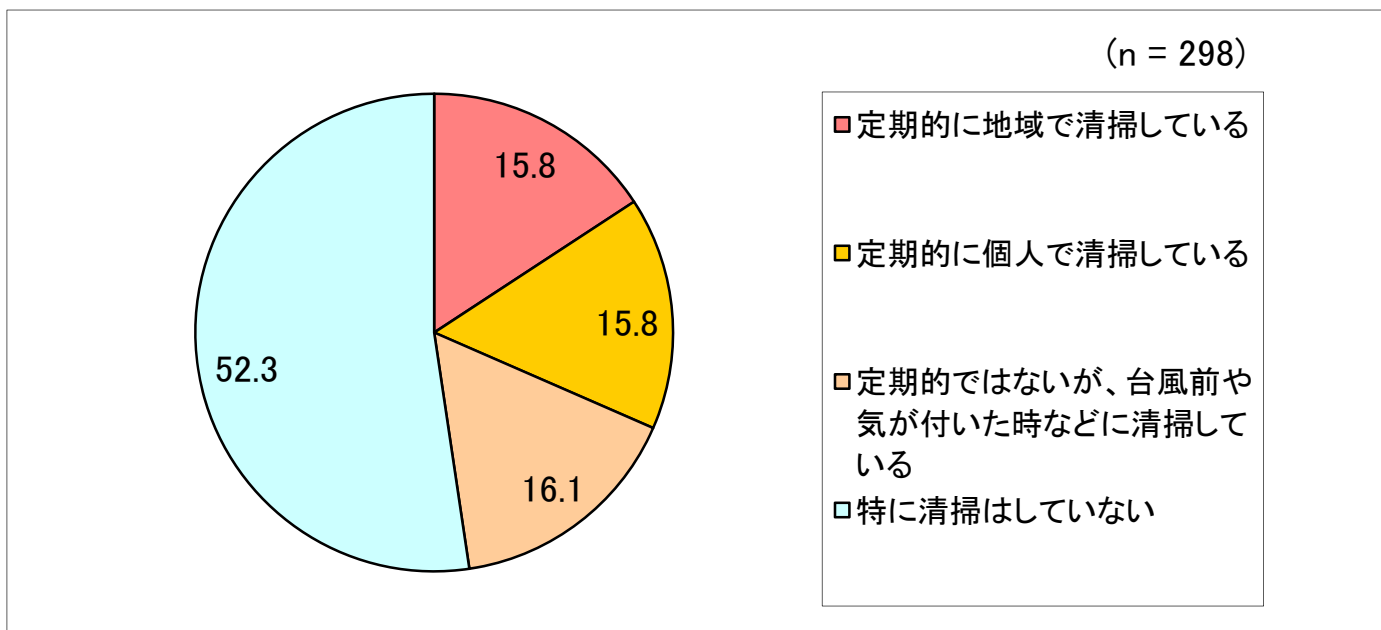
最も多いのは、「数日分の食料・飲料水・燃料等の確保」で、全体の 59.7%でした。

次に多いものは、「庭やベランダの掃除や窓の補強等の風害対策」で、全体の 56.4%でした。

「いざという時の連絡先や避難先を家族間で決めておく」が全体の 53.7%、「防災情報を入手方法の確認や情報収集 (行政が提供する防災情報メールサービスへの登録等)」が全体の 50.7%でした。

「雨水ますの掃除や土のうの準備等の水害対策」は全体の 20.1%でした。

■問4 道路上には雨水が流れていく雨水ますがあります。この雨水ますの上に落ち葉やゴミが溜まると、下水道には流入の余裕があるにも関わらず、雨水が下水道に流れていかず、道路冠水が起こることもあります。地域又はお家庭で、定期的に付近の雨水ますの清掃をしていますか？

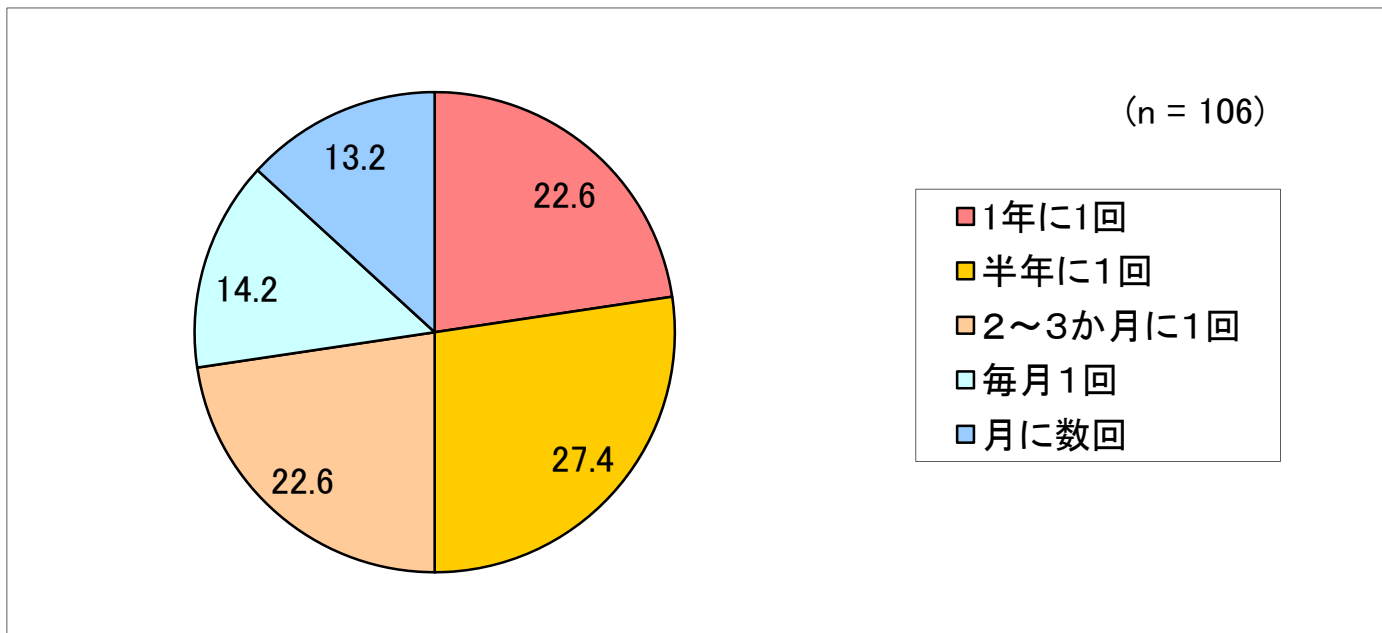


No.	選択肢	実数	%
1	定期的に地域で清掃している	47	15.8
2	定期的に個人で清掃している	47	15.8
3	定期的ではないが、台風前や気が付いた時などに清掃している	48	16.1
4	特に清掃はしていない	156	52.3
	計	298	100

最も多いのは、「特に清掃はしていない」で、全体の52.3%でした。

「定期的に清掃している」のは、個人・地域をあわせて、全体の31.6%でした。

■問 5 問 4 で「定期的に地域で清掃をしている」・「定期的に個人で清掃している」を選択された方におたずねします。どのくらいの頻度で行っていますか。



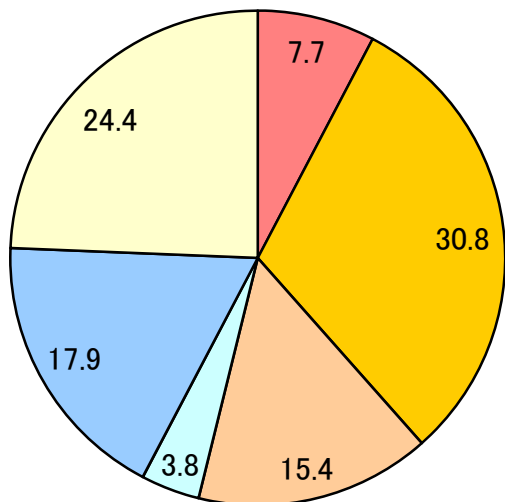
No.	選択肢	実数	%
1	1年に1回	24	22.6
2	半年に1回	29	27.4
3	2～3か月に1回	24	22.6
4	毎月1回	15	14.2
5	月に数回	14	13.2
	計	106	100

最も多いのは、「半年に1回」で、全体の27.4%でした。

「1年に1回」「2～3か月に1回」がどちらも全体の22.6%でした。

■問6 質問5で「1年に1回」・「半年に1回」・「2～3か月に1回」を選択された方にお伺いします。清掃を行う上で、問題となっていることはありますか？最もあてはまるものを一つ選んでください。

(n = 78)



- 雨水ますの上部に車の乗り入れやプランターが置いてある箇所が多く、十分に清掃できない。
- 大量のゴミや落ち葉等の処分が大変である
- 周辺に樹木が多いなどの状況により、すぐに落ち葉等がたまってしまいうため、きりがたい
- 雨水ますが他人の家の前にあたり、雨水ますの前後に駐車車両があるなど、清掃作業がやりづら
- 清掃をする人手が足りない
- その他

No.	選択肢	実数	%
1	雨水ますの上部に車の乗り入れやプランターが置いてある箇所が多く、十分に清掃できない。	6	7.7
2	大量のゴミや落ち葉等の処分が大変である	24	30.8
3	周辺に樹木が多いなどの状況により、すぐに落ち葉等がたまってしまいうため、きりがたい	12	15.4
4	雨水ますが他人の家の前にあたり、雨水ますの前後に駐車車両があるなど、清掃作業がやりづら	3	3.8
5	清掃をする人手が足りない	14	17.9
6	その他	19	24.4
	計	78	100

最も多いのは、「大量のゴミや落ち葉等の処分が大変である」で全体の30.8%でした。
次に多いのは、「清掃をする人手が足りない」で全体の17.9%でした。

■問7 質問6でその他を選択された方は、具体的にご記入ください。

それほど問題を感じていない
問題はない
問題になっていることは無い
特に問題はありません。
問題はない
自宅の近くには雨水ますがないので、個人的には清掃時の問題は把握していません。
雨水ますの蓋が重すぎて男手とふたを持ち上げる工具が必要。掃除したくても女性の力では無理
蓋を開きたいが開かない
上にかぶせてある網が重いので持ち上がらない。ゴミは溜まっていないので安心しています。
側溝の蓋が、重くて動かせない
雨水ますが重くて持ち上げるのに人手がかかる。また処によつては持ち上がらないです
通行人等がゴミを捨て溜まっている事が多い。
タバコの吸い殻をそこに捨てる人が多く、一度タバコが入らないように細かい網目の変えて欲しいと土木にもうしでたが、定期的に清掃するので、現状のままでとの回答でした。網目が細かいと目詰まりしやすくなるとのことです。
排水マスにシラシメ油を捨てている様な跡がある、臭う。排水の妨げになっているのでは！！！！？
近所に路上での木材加工を趣味とし、木片を路上に放置する者がいる。木片の殆どが我が家の雨水ます上に集まり、掃除してもキリがない。
町内の清掃が年に1回のため
一年に一度の町内清掃に、若い人や新しく加入した人は、参加しない傾向にあります。清掃などに参加してみると、雨水ますなどの場所もわかると思います。災害時だけでなく、定期的な清掃に参加して、地域のことも知ってほしいです。
目視で見て、溜まってたら掃除する。
マンションの管理会社が行っている
専門業者が集合住宅の各戸の排水管洗浄作業する折に住宅敷地内の雨水枡等を清掃しています。
我が家は、空港線に面しています。昔は大通りは名古屋市の清掃車が夜間に清掃しながら走っていくのを見かけましたが最近は見ないですね。雨水枡はよく私も気にかけていますが最近とても綺麗になっています多分地域の方のお蔭でしょうか？私は足が悪いので何時も失礼していますが。

特に問題はない（6件）、雨水ますの蓋が重い（5件）、タバコやごみなどを捨てる人がいる（4件）などのご意見をいただきました。

雨水ますの清掃

雨水ますは、雨が下水管に入る大切な入り口です。ゴミや落ち葉が詰まると浸水の原因にもなりますので、雨水ますの上部はいつもきれいにしておくようご協力をお願いします。



❌ ゴミで雨水が入りにくい

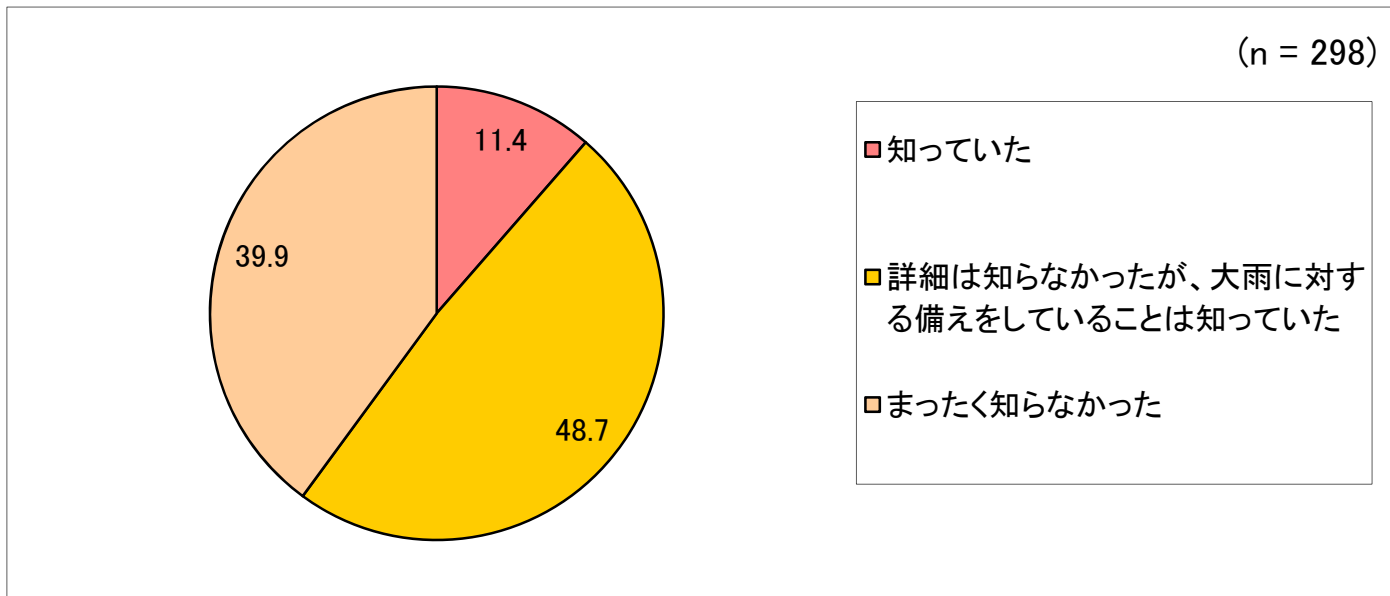


❌ 植木鉢で雨水が入りにくい



名古屋市上下水道局公式ウェブサイト みなさまへのお願い
(<http://www.water.city.nagoya.jp/category/saigaisona/2168.html>)

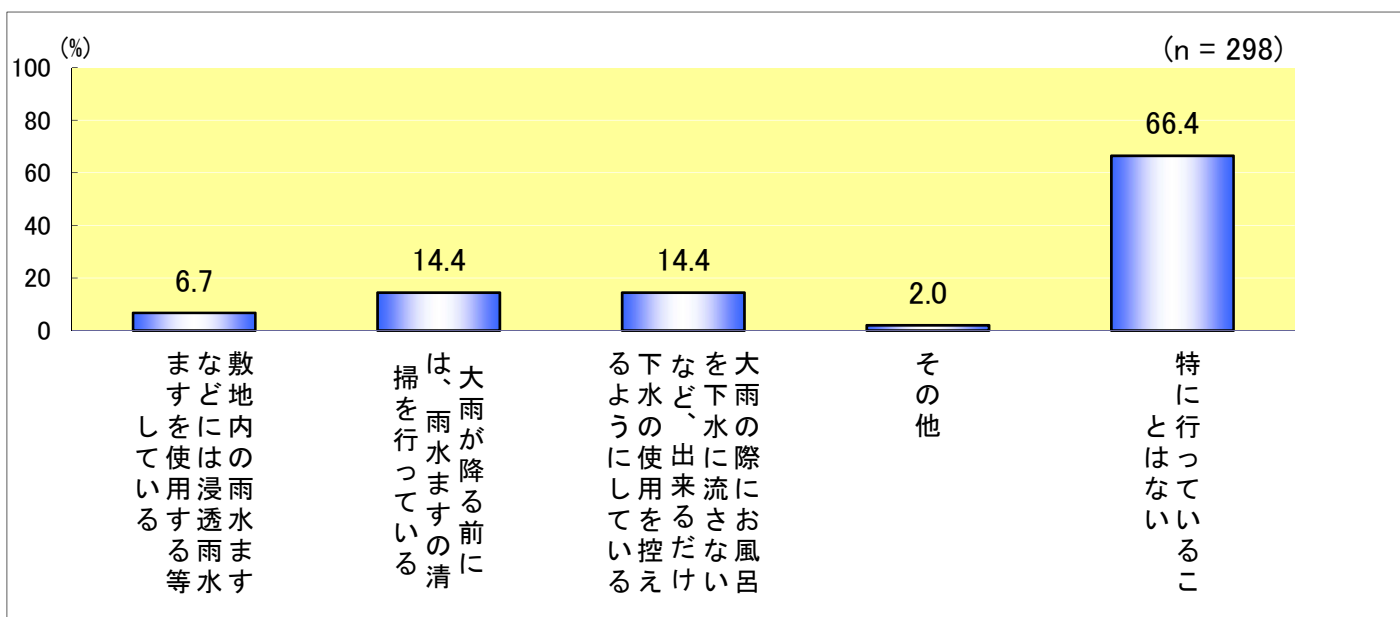
■問8 名古屋市では、1時間 50mm降雨に対する下水道整備を進めています。また、東海豪雨等で浸水被害が集中した地域や、名古屋駅前等都市機能の集積する地域においては1時間 60mm降雨に対応した整備を進めることで、時間 97mm降雨（東海豪雨時の記録）に対して、床上浸水の概ね解消を図ることを目的とした「緊急雨水整備事業」をしています。このような雨水対策を行っていることをご存知でしたか？



No.	選択肢	実数	%
1	知っていた	34	11.4
2	詳細は知らなかったが、大雨に対する備えをしていることは知っていた	145	48.7
3	まったく知らなかった	119	39.9
	計	298	100

最も多いのは、「詳細は知らなかったが、大雨に対する備えをしていることは知っていた」で、全体の48.7%でした。次に多いのは、「まったく知らなかった」で、全体の39.9%でした。

■問9 名古屋市では、様々な大雨対策を行っていますが、ハード面の整備は多額の費用と時間を要するため、お客さまにも大雨対策のお願いをしています。以下の中で、実際に実行していただいている雨水対策はありますか？あてはまるものを全て選んでください。



No.	選択肢	実数	%
1	敷地内の雨水ますなどには浸透雨水ますを使用する等している	20	6.7
2	大雨が降る前には、雨水ますの清掃を行っている	43	14.4
3	大雨の際にお風呂を下水に流さないなど、出来るだけ下水の使用を控えるようにしている	43	14.4
4	その他	6	2.0
5	特に行っていることはない	198	66.4
	計	298	100

最も多いものは、「特に行っていることはない」で全体の66.4%でした。

次に多いのは、「大雨が降る前には、雨水ますの清掃を行っている」「大雨の際にお風呂を下水に流さないなど、出来るだけ下水の使用を控えるようにしている」で、どちらも全体の14.4%でした。

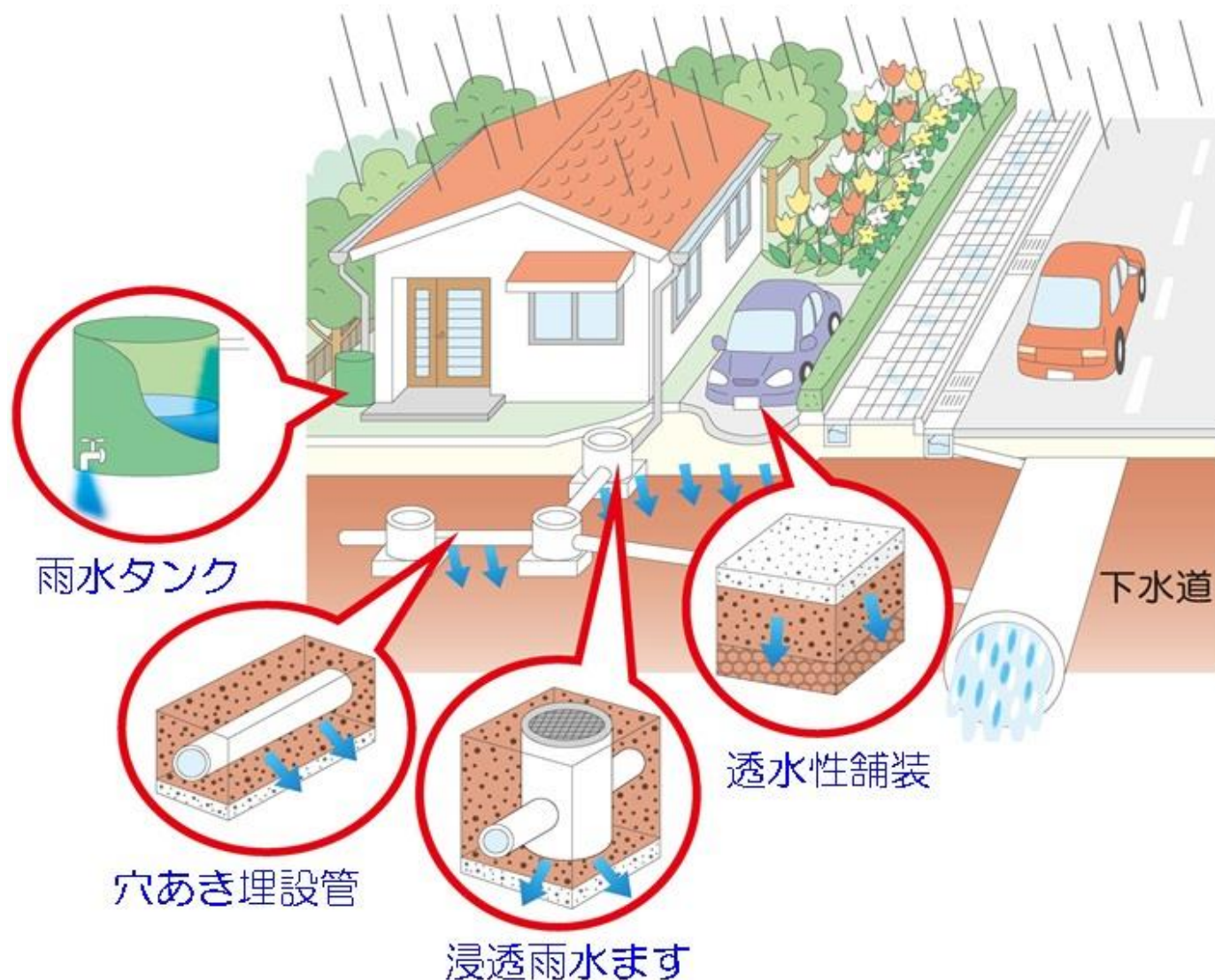
雨水流出抑制のお願い

雨水を地中に浸み込ませたり、一時的に貯めたりすることを「雨水流出抑制」といいます。

なぜ、雨水流出抑制が必要なの？

市街地では、昔に比べて多くの面積がアスファルトやコンクリートに覆われてしまったため、降った雨が浸み込む場所を失い、雨水のほとんどが短時間に集中して下水道や河川に流れ出すようになっています。

このため、大雨が降ると、下水道や河川的能力を超えた雨水が道路などにあふれやすくなっています

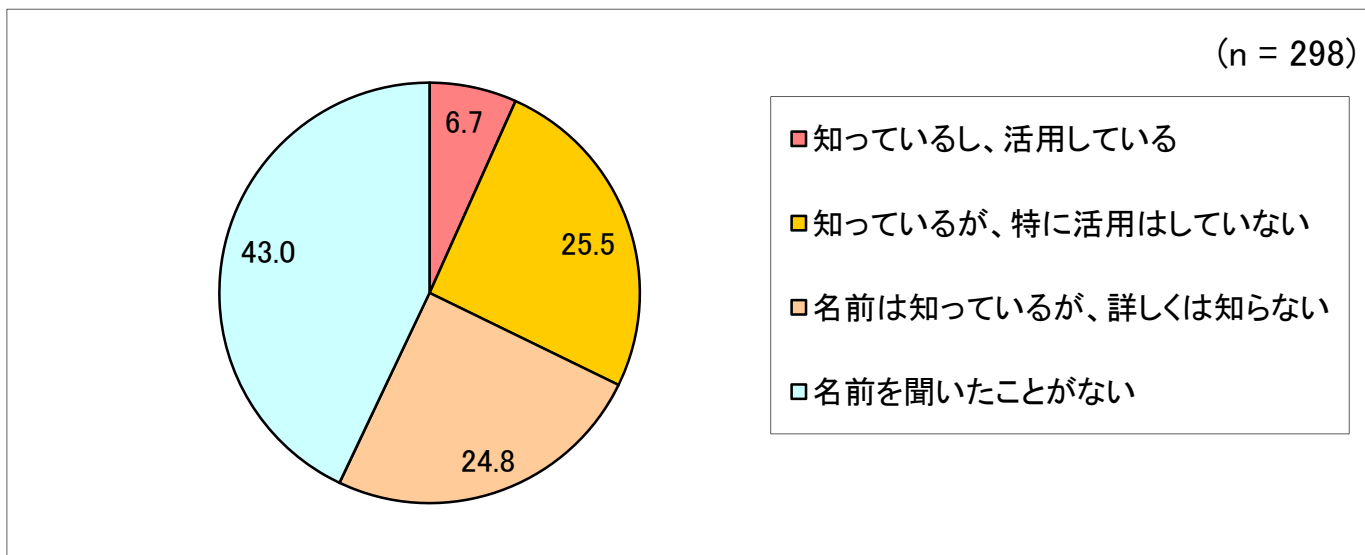


浸水対策としては、みなさまの敷地などから下水道や河川に雨水が流れ出すのを、少しでも「減らす」「遅らせる」ことが大切です。

名古屋市上下水道局公式ウェブサイト 雨水流出抑制のお願い

<http://www.water.city.nagoya.jp/category/10600onegai/1456.html>

■問10 雨の量が下水道などの排水施設の能力を超えるときや、河川の水位が高くなったとき、雨水を排水できなくなり浸水することがあります。このような現象を「内水はん濫」といいます。河川や下水道の能力を超える雨に対して、浸水被害を最小限にするために、自宅周辺がどの程度浸水するのかを把握して、いざという時の避難行動について確認していただく等、日頃から水害に備えてもらうことを目的として「内水ハザードマップ」を作成しました。あなたは内水ハザードマップをご存知ですか？



No.	選択肢	実数	%
1	知っているし、活用している	20	6.7
2	知っているが、特に活用はしていない	76	25.5
3	名前は知っているが、詳しくは知らない	74	24.8
4	名前を聞いたことがない	128	43.0
	計	298	100

最も多いものは、「名前を聞いたことがない」で全体の43.0%でした。
次に多いのは、「知っているが、特に活用はしていない」で全体の25.5%「名前は知っているが、詳しくは知らない」で全体の24.8%でした。

